製品紹介
New Products

GPSコンパス　JLR-21/JLR-31
GPS COMPASS JLR-21/JLR-31

1．概要

GPSコンパスJLR-21/JLR-31は，従来機JLR-20/JLR-30の技術とノウハウを基に開発された新方位計測装置である。

装置は，センサ部（アンテナ）と表示器の2ユニットより構成されている。

JLR-21/JLR-31は，従来機に対し大型船向けの機能を充実させ，更に大型船への搭載要件の一つであるGPS航法装置の検定も取得した。

また，GPSコンパスの応用技術の一つであるヒービング計測機能も実現し，幅広いニーズに対応できる仕様になっている。

今回，汎用型のJLR-21と高精度型のJLR-31の2モデルを同時開発した。

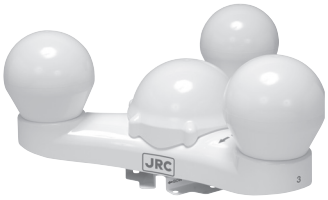
2．特長

⑴　5.7インチ大型液晶ディスプレイによる優れた視認性と実用性に優れた表示モードを多数搭載
⑵　ローリング，ピッチング，旋回率（ROT），ヒービング計測に対応
⑶　船首方位伝達装置（THD）検定 と衛星航法装置（GPS）検定を取得
⑷　毎秒45°の旋回にも対応する高速追従性
⑸　時間変化が把握できるトレンドグラフやアンカーワッチ機能を搭載
⑹　高精度かつ高安定性
⑺　短い静定時間
⑻　GPS電波中断時も内蔵の補助センサでバックアップ可能
⑼　定期校正が不要

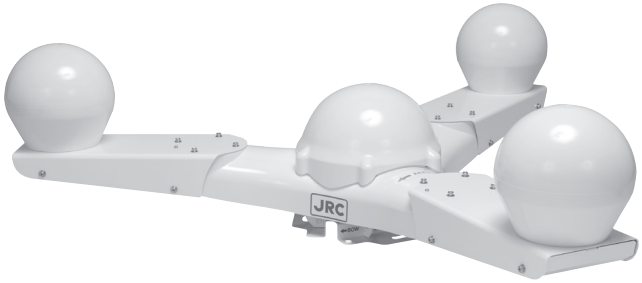
3．仕様

⑴　受信形式　マルチチャネル12ch
⑵　方位精度
　JLR-21　0.5度 rms
　JLR-31　0.25度 rms
⑶　回頭角速度　45度/秒
⑷　ローリング/ピッチング
　0.5度 rms
⑸　ヒービング　20cm rms
⑹　方位分解能
　表示　0.1度
　外部出力　0.1度/0.01度（任意選択可）
⑺　位置精度
　JLR-21　12m 2drms（単独），6m 2drms（SBAS）
　JLR-31　12m 2drms（単独），5m 2drms（SBAS）
⑻　静定時間　2分

表示器　NWZ-4701
DISPLAY UNIT NWZ-4701



センサ部　NNN-21
SENSOR UNIT NNN-21



センサ部　NNN-31
SENSOR UNIT NNN-31

GPSコンパス JLR-21／JLR-31
GPS COMPASS　JLR-21/JLR-31

※NWZ-4701に，NNN-21を使用した場合がJLR-21，NNN-31を使用した場合がJLR-31となる

⑼　SBAS　内蔵
⑽　RAIM　内蔵
⑾　表示モード　アナログコンパス/ ROT / NAV / GPS受信状態など
⑿　データ出力　NMEA0183 ver.1.5 / 2.1/ 2.3 / NSK共用×5ポート
⒀　接点信号　出力×2ポート　入力×1ポート
⒁　ログパルス　1ポート（200 /400 p/NM 任意選択可能）
⒂　動作温度範囲　センサ部：－25 ~ ＋55℃　表示器：　－15 ~ ＋55℃
⒃　電源電圧　12/24VDC（最大12W）

お問合せ先　海上機器営業部
電話 03-6832-1807